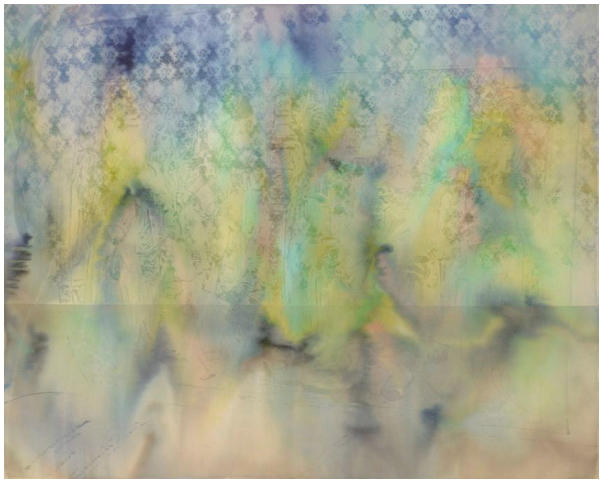
京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展
／横内賢太郎「誰もに何かが（Something for Everyone）」



《adapting form - rik》2016 年
サテン布に染料、メディウム、吸収性下地 130×162cm

公立大学法人 京都市立芸術大学は、2020 年 9 月 12 日（土）から 10 月 25 日（日）まで、京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA で、京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展／横内賢太郎「誰もに何かが（Something for Everyone）」を開催します。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、人々の移動や対面でのコミュニケーションが大きく制限されるようになって数ヶ月が経ちました。世界中の人々が、当たり前だった「これまで」を振り返りながら、来るべき「これから」について、立ち止まって考える日々を過ごしています。この依然とした非常事態の中で行われる本企画では、あらためて異文化との接触やコミュニケーション、またそれらがもたらすものについて、京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品、また本学大学院美術研究科博士（後期）課程修了生の横内賢太郎の現在進行形の実践と思考の中に見出すことを試みます。

本学芸術資料館には、明治期から現在まで歴代の卒業・修了作品が収蔵されています。これらの作品を順に辿ると、時代を追うごとに表現の傾向が移り変わっていくのに気づかされます。最初期の特筆すべき変化としては、1903 年の京都市紀念動物園（現在の京都市動物園）開園以後、動物が積極的に描かれるようになったことや、欧州視察で知見を得た竹内栖鳳をはじめとする当時の教員から学んだ西洋画表現からの影響などが挙げられます。本企画では、これらの「出会い」が作家たちにもたらしたものとその受容のあり方を、入江波光（1887–1948）、渡辺与平（1889–1912）、村上華岳（1888–1939）の 3 名の画家の卒業作品から考察します。

そして、2 階の展示室では、横内賢太郎による「誰もに何かが（Something for Everyone）」が展開されます。横内は「文化的接ぎ木」をキーワードに、さまざまな文化的・歴史的背景を持つイメージをメディウムによって画面上に転写し、ステイニングの技法（下地処理を行わない画布に絵具を染み込ませる）を用いてそれらの図像を画面上で再接続する絵画作品を制作してきました。その姿には、本企画で取り上げる明治期の作家たちが、模写による学習からはじめて、自らの表現を模索していった様が重なるようでもあります。2007 年に本学大学院美術研究科博士課程を修了して以後、数年間日本で作家活動を続けたのち、横内は 2014 年にインドネシアに移住します。また、調査や活動を続ける傍ら、自宅をアートスペース「Artist Support Project」とし、自身の絵画による実践とは別の形で文化と交流について考えていくプロジェクトを運営します。そして、そうしたなかで浮かび上がってきた新たな課題に挑戦すべく、2020 年春にオランダに拠点を移すことになります。本企画では、各地で制作した作品に加え、「Artist Support Project」での活動のアーカイブも展示し、横内がアーティストとして、異文化に属する文物のイメージの接続、人々の交流についてどのように思考を巡らせているのかを包括的に提示します。

移動や対面でのコミュニケーションが叶わず、オンラインにそのほとんどを代えざるを得ない日々は、まだしばらく続くことでしょう。自分の前にあるディスプレイの画面とヘッドフォンを通して出会う人々、出会う世界は近いようで遠く、それらに心奪われるというよりは、いつしか内省している自分に気づくことの方が多いのではないでしょうか。いまは、外からの刺激を糧にして動くのではなく、立ち止まっているからこそ見えてくるものに目を向け、聞こえてくるものに耳をすまし、未来に備えて自分の中に「考えをたくわえるとき」なのかもしれません。このような時代において本企画が「これから」のためのたくわえとなる「出会い」をもたらすものの一つとなることを願います。

【プレスリリース お問合せ 】　広報担当｜西谷枝里子（リレーリレー）
Tel. 090-2062-6963　Fax. 075-253-1510　E-mail. eriko@relayrelay.net

ABOUT THE COLLECTION

京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展　出品作品

入江波光《春雨》
明治 38 年 3 月、1520mm×845mm（画面サイズ）、軸装

村上華岳《熊》
明治 40 年 3 月、1440mm×830mm（画面サイズ）、軸装

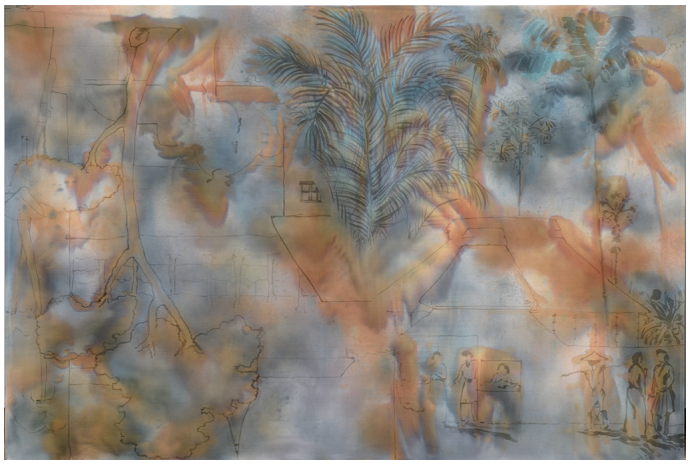
渡辺与平《狐》明治 39 年 3 月、845mm×1480mm（画面サイズ）、軸装

【プレスリリース お問合せ 】　広報担当｜西谷枝里子（リレーリレー）
Tel. 090-2062-6963　Fax. 075-253-1510　E-mail. eriko@relayrelay.net

ABOUT THE ARTIST

横内賢太郎　Kentaro Yokouchi

1979 年千葉県生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業、2007 年京都市立芸術大学大学院博士（後期）課程油画領域修了。2014 年よりポーラ美術振興財団在外研修員でインドネシアに渡り、その後ジョグジャカルタに移住。作品制作と並行し自宅を改装したアートスペース「Artist Support Project」を運営。2020 年春よりオランダに拠点を移す。光沢のあるサテン布に染料やメディウム等により滲みのある独特な画面を作り、東洋に対する西洋の関係性あるいは、交わりをあらわにする。主な展覧会に、「横内賢太郎 CONTACT」（愛知県美術館 コレクション展示室、2020 年）、「Lintas House / ASP from Yogyakarta, Indonesia」（Basara House、大分、2019 年）、「Collective Storytelling」（瀬戸内国際芸術祭、2019 年）、「Collective Storytelling -Contemporary Art from Yogyakarta, Indonesia」（Synesthesia、NY、2019 年）、「大和コレクション VII デイ・ドリーム つむがれた記憶」（沖縄県立博物館・美術館、2015 年）、「キュレーターからのメッセージ 2012 現代絵画のいま」（兵庫県立美術館、2012 年）、「桃源万歳 - 東アジア理想郷の系譜」（岡崎市美術博物館、2011 年）、「MOT アニュアル 2010」（東京都現代美術館、2010 年）、「VOCA 展 2008」（上野の森美術館、2008 年）など。岡崎市美術博物館、東京都現代美術館、豊田市美術館、高松市美術館にパブリックコレクションがある。



《C. pagisore - land》2019 年
シルクサテン布に染料、メディウム
130×162cm

《cultural grafting - study rh》2016 年
プリントバティック布にシルクスクリーンインク 30×30cm

《Human behavior 失われるもの、暖かい風、人称変化、繰り返し》2019 年
紙にインディゴペースト、テンペラ 75×55cm×25 sheets（部分写真）130×162cm

《Signs (aike)》2010 年
サテン布に染料、メディウム 146×113 cm

【プレスリリース お問合せ 】　広報担当｜西谷枝里子（リレーリレー）
Tel. 090-2062-6963　Fax. 075-253-1510　E-mail. eriko@relayrelay.net

関連イベント

トークイベント 1
横内賢太郎が 2020 年 7 月から 9 月までアーティスト・イン・レジデンス・プログラムで滞在中のアートスペース Punt WG（https://puntwg.nl/en/）で開催中の成果発表展の会場と、本展会場を繋いでのオンライントークイベントを開催します。
日時：2020 年 9 月 26 日（土）（仮）19:00–
オンラインのみ、要事前申込（事前予約をされた方のみに URL をお知らせいたします）

トークイベント 2
横内賢太郎がインドネシアで運営するアートスペース Artist Support Project の関連作家とのトークイベントを行います。
日時：2020 年 10 月 3 日（土）（仮）19:00–
オンライン参加を希望の場合は要事前申込（事前予約をされた方のみに URL をお知らせいたします）。@KCUA での当日視聴可（当日はニュイ・ブランシュ KYOTO 開催のため、22:00 まで延長開館）。

関連リンク

横内賢太郎ウェブサイト http://www.kentaroyokouchi.com
Artist Support Project　https://aspparangtritis.weebly.com

開催概要

展覧会名称：京都市立芸術大学創立 140 周年記念／京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA 開館 10 周年記念展
京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展／横内賢太郎「誰もに何かが（Something for Everyone）」

主催：京都市立芸術大学
企画：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
企画協力：長坂有希（京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品活用展）
会場：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA（住所／京都市中京区押油小路町 238-1）
会期：2020 年 9 月 12 日（土）– 10 月 25 日（日）11:00–19:00
（月曜休館，9 月 21 日（月・祝）は開館，翌平日の 9 月 23 日（水）を休館／ 10 月 3 日（土）はニュイブランシュ KYOTO 開催のため 22:00 まで延長開館）
入場：無料
お問合わせ：京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
Tel: 075-253-1509　E-mail: gallery@kcua.ac.jp
公式サイト : http://gallery.kcua.ac.jp

京都市立芸術大学 Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —　@KCUA KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

今後、新型コロナウィルス感染予防・拡散防止の対策状況により、予定が変更となる可能性がございます。
変更が生じた場合には京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA ウェブサイトにてお知らせいたします。あらかじめご了承ください。

【プレスリリース お問合せ 】　広報担当｜西谷枝里子（リレーリレー）
Tel. 090-2062-6963　Fax. 075-253-1510　E-mail. eriko@relayrelay.net